

省エネルギーを進める9つのプロジェクト

「横浜町地域省エネルギービジョン」では、9つの省エネプロジェクトを設定しています。

行政	①	職員による省エネルギーの率先実行	行政職員が先頭に立って庁舎内等で省エネを実行します
	②	施設・設備の見直し	公共施設で省エネ診断実施し、省エネに役立つよう施設・機器を見直します
	③	省エネ情報の発信	広報活動などで家庭や事業者在省エネに関連する情報を発信します
家庭	①	家庭での取り組み促進	横浜町版環境家計簿(*1)や WEB サイトの活用、グループを作るなどして家庭での取り組みを進めます
	②	省エネルギー「見える化」の促進	各家庭がエネルギー使用状況を把握しやすいように省エネナビ(*2)などを普及します
教育	①	環境・エネルギー教育推進	エネルギー教育を学校場で進め、エネルギー問題、省エネの意味などについて理解を深めます
	②	創意工夫による省エネ努力の顕彰	省エネにより経費節減に成果をあげた学校に対する顕彰を行います
協働	①	イベントでの省エネルギーのテーマ化	町内イベントの中で、省エネを含めたエコをテーマとして様々なPRを進めます
	②	行政、事業者、町民の協働の場の設定	行政と商工団体、農業水産業団体、主要事業所との間で省エネの推進に関する協議の場を設置します

1)記入することで家庭のエネルギー消費量、二酸化炭素排出量ができるようになった家計簿

2)電気機器に接続して電気使用量と使用による二酸化炭素排出量ができるようになった機器

お問い合わせは役場総務課まで

このパンフレットについて、または「横浜町地域省エネルギービジョン」、省エネルギーに関連するお問い合わせ先はこちらです。

横浜町役場総務課 〒039-4145 横浜町字寺下 35

電話 (0175) 78-2111

FAX (0175) 78-2118

E-mail yokohama07@net.pref.aomori.jp

※このパンフレットで使用した資料、写真は「横浜町省エネルギービジョン」、町勢要覧等横浜町役場、環境省ホームページから引用しました

※この事業は「NEDO 技術開発機構」の補助により実施しました

この印刷物は再生紙を使用しております。

横浜町は町民のみなさんと一緒に 省エネルギーに取り組みます

＜平成 21 年度横浜町地域省エネルギービジョン策定等事業概要版＞



横浜町は、省エネルギーを進める「横浜町地域省エネルギービジョン」を作成しました。ビジョンにもとづいて次のような取り組みを進めていきます。

地球温暖化の防止、エネルギー問題の解決に取り組みます

エネルギーの大量消費による二酸化炭素など温暖化ガスの増加で地球温暖化が進み、農林漁業にも深刻な問題が発生する恐れがあります。横浜町も日本政府や国際社会と歩調を合わせて地球環境を守るためエネルギーの消費を減らしていきます



行政、家庭、事業者の経費節減をすすめます



ガソリン、灯油などのエネルギー価格の大きな変動は暮らしや産業にも影響をもたらします。行政が率先してエネルギーの使用を減らすのをはじめ、家庭や事業者の皆さんとも水光熱費の節減になる方法を考え、一緒に取り組みます

省エネルギー活動を通じてまちづくりを行います

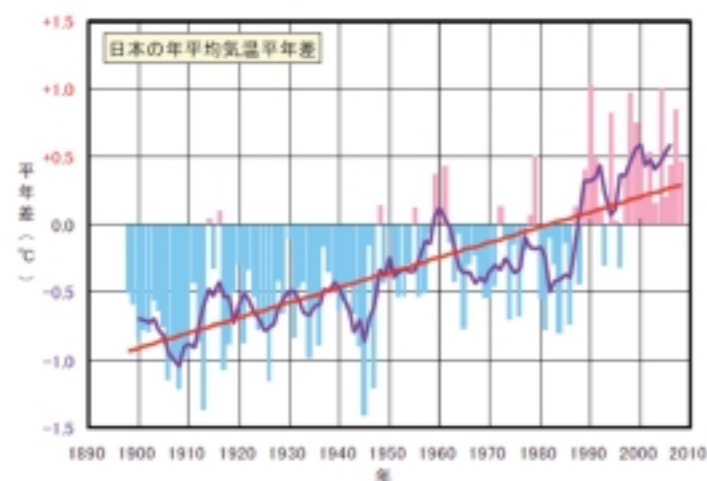
横浜町は風力発電、廃食油を利用した燃料などクリーンエネルギーの導入や“菜の花トラスト”、子供達による海岸美化などエネルギーや環境を取り入れたまちづくりを進めてきました。省エネルギーも町民のみなさんや学校と協働して取り組むことでまちづくりのテーマの一つにしていきます



「横浜町地域省エネルギービジョン」とは？

町内で省エネルギーを進めるために、町、専門家、団体代表、町民代表が協議して作成したビジョンです。省エネが必要な理由、横浜町で消費されているエネルギーとそれによって排出されている二酸化炭素の量、将来に向けて削減する目標、削減のための方策、実行するプロジェクトなどについてまとめています。本編は役場にあります。この概要版ではその要点を紹介します。

進む地球温暖化



石油製品、ガス、電気などのエネルギー資源を使うことで二酸化炭素などの温室効果ガスが発生します。これが地表を暖め地球温暖化の原因となります。温暖化によって気象の変動、農産物の収量減少、生態系の変化、海面の上昇など多くのマイナスの影響が予測されています。

横浜町のエネルギー使用

	石油系 (KL)	LPG (t)	電力 (MWh)
民生			
家庭	1,901	125	10,943
業務	1,387	79	13,915
産業			
農業	977	388	9,086
水産業	732		
製造業	933	5	10,199
運輸	4,602	66	
合計	10,532	638	44,143

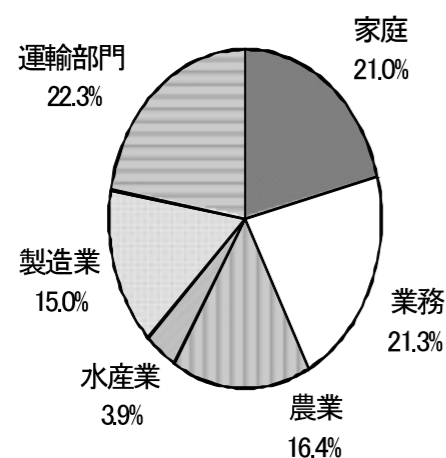
横浜町全体では1年間に石油製品（灯油、軽油、重油、ガソリン）10,532 キロリッター、LPG638 トン、電気 44,143MWh を使用しています。これは全部灯油で使ったと置き換えると灯油缶 88 万個分になります。

横浜町の二酸化炭素排出量

横浜町全体では1年間に48,783 トンの二酸化炭素を排出していますが、そのうち家庭と公共施設など業務部門が約 20% ずつ、工業、農業、水産業など産業部門が約 35%、残りが運輸部門（自動車）となります。運輸部門には自家用車が多く含まれるため、家庭から出る二酸化炭素は横浜町全体の 4 割近くになると推定されます。

町内の家庭一世帯からは1年で7.4 トンの二酸化炭素が出ています。

地球温暖化の原因となる二酸化炭素を減らすには、行政はもちろん、各家庭や産業に従事する人ができることから取り組む必要があります。



(エネルギーを使用したことによる二酸化炭素排出量は町全体で年間 48,783t)

省エネルギーを進める基本方針

省エネルギービジョンは次のような基本方針で横浜町の省エネルギーを進めることとしています。

1. 家庭での省エネルギー活動への参加を促す

町全体のエネルギー使用を減らし地球環境を守るためにはそれぞれの家庭でできることから始めることが大切です

2. 公共部門は率先して省エネルギーにつとめる

役場や公共施設の職員は職場で省エネに取り組み、必要があれば機器・設備の更新も行いながら率先して行動します

3. 事業者との連携を強める

産業部門の省エネのためには大手の工場、農場の協力を得たり、農協、漁協、商工会などの団体と協調しながら行動することが大切です。

家庭でできることは例えばこんなこと

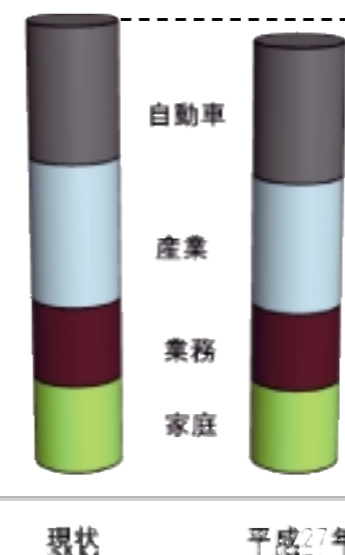
今すぐできる省エネルギー

家庭ですぐに取り組みめる省エネ行動とその効果の例には次のようなものがあります。

エアコンの設定温度を一度下げる	1,170 円の電気代の節約
冷蔵庫の温度設定を「強」から「中」に	1,360 円の電気代の節約
石油ストーブの暖房を1時間短縮	1,656 円の灯油代の節約
冷蔵庫を最新型に買い換える	9,900 円の電気代の節約
運転時に加速を抑える	9,860 円のガソリン代の節約

※節約できる料金はモデルケースによるもので製品や取り組み方で異なります
水光熱費を節約しながら省エネつとめる方法は他にもいろいろあります。省エネルギーセンターのホームページや役場にある資料を参照してください

省エネルギーの目標



4.5%の削減

省エネルギーの目標は平成 27 年度を目標として現状より 4.5%のエネルギー使用量を削減することとします。

削減量を灯油量で換算すると現在 15,803KL（灯油缶 88 万個分）使っているエネルギーを 708KL（3 万 9 千個分）減らすことになります。これにより二酸化炭素排出量は約 2,200 トン減少し地球温暖化防止と環境の保全に貢献します。